

令和2年度金沢医科大学医学部入学試験問題
一般入学試験（後期）【数学】

[1] 6個の数字1, 2, 3, 4, 5, 6をすべて使って、6桁の整数をつくる。

- (1) 6桁の整数は全部で **アイウ** 個ある。
(2) 5の倍数は全部で **エオカ** 個ある。
(3) 240000より小さい偶数は全部で **キク** 個ある。
(4) 小さい方から順に数えて123番目の整数は **ケコサシスセ** である。
(5) 645321は小さい方から順に数えて **ソタチ** 番目の整数である。

[2] k を定数とする。2つの放物線 $y = x^2 + 2x - 3 \cdots ①$, $y = 2x^2 + (4-k)x - 2k \cdots ②$ を考える。

- (1) ①が x 軸から切り取る線分の長さは **ツ** である。
(2) $k = -\boxed{\text{テ}}$ のとき、②は x 軸と点 $(-\boxed{\text{ト}}, 0)$ で接する。また、 $k \neq -\boxed{\text{テ}}$ のとき、②は x 軸と異なる2点 $(-\boxed{\text{ナ}}, 0), (\frac{k}{\boxed{\text{ニ}}}, 0)$ で交わる。
(3) ②と x 軸の共有点が、すべて(1)で考えた線分上にあるとき、 k のとり得る値の範囲は
 $-\boxed{\text{ヌ}} \leq k \leq \boxed{\text{ネ}}$ である。ただし、線分は端点を含むものとする。
(4) ①と②が接するとき、 $k = -\boxed{\text{ノ}} \pm \boxed{\text{ハ}} \sqrt{\boxed{\text{ヒ}}}$ である。
 $k = -\boxed{\text{ノ}} + \boxed{\text{ハ}} \sqrt{\boxed{\text{ヒ}}}$ のとき、②が x 軸から切り取る線分の長さを L_1 とし、 $k = -\boxed{\text{ノ}} - \boxed{\text{ハ}} \sqrt{\boxed{\text{ヒ}}}$ のとき、②が x 軸から切り取る線分の長さを L_2 とする。このとき、 $\frac{L_1}{L_2} = \boxed{\text{フ}} + \sqrt{\boxed{\text{ヘ}}}$ である。

令和2年度 金沢医科大学医学部入学試験問題
一般入学試験（後期）【数学】

[3] a, b を定数とし, $f(x) = x^2(x - a)$ とする。点 A(2, 18) を通る直線 ℓ が点 B(-1, b) で曲線

$C: y = f(x)$ に接するとき, 以下の問い合わせに答えよ。

(1) $a = \boxed{\text{ホ}}, b = -\boxed{\text{マ}}$ であり, ℓ の方程式は $y = \boxed{\text{ミ}}x + \boxed{\text{ム}}$ である。

(2) C と ℓ の共有点のうち, B と異なる点の座標は $(\boxed{\text{メ}}, \boxed{\text{モヤ}})$ である。また, C と ℓ で囲まれた部分の面積は $\frac{\boxed{\text{ユヨラ}}}{\boxed{\text{リル}}}$ である。

(3) C 上の点 $P(p, f(p))$ について, 三角形 ABP を考える。 $-1 < p < \boxed{\text{メ}}$ のとき, この三角形の面積の最大値は $\frac{\boxed{\text{レロワ}}}{\boxed{\text{ヲ}}}$ である。

[4] $a_1 = \frac{3}{7}, a_{n+1} = \frac{3a_n}{2^n a_n + 4}$ で定義される数列 $\{a_n\}$ を考える。すべての自然数 n に対して $a_n > 0$

であるから, $a_n \neq 0$ である。 $b_n = \frac{1}{a_n}$ とおくと, $b_1 = \frac{7}{3}, b_{n+1} = \frac{\boxed{\text{あ}}}{\boxed{\text{い}}} b_n + \frac{\boxed{\text{う}}}{\boxed{\text{え}}}^n$

である。さらに, $c_n = \frac{b_n}{n}$ とおくと, $c_1 = \frac{\boxed{\text{お}}}{\boxed{\text{か}}}, c_{n+1} = \frac{\boxed{\text{き}}}{\boxed{\text{く}}} c_n + \frac{\boxed{\text{け}}}{\boxed{\text{こ}}}$

である。以上より, $a_n = \frac{\boxed{\text{さ}}^n}{\boxed{\text{し}} \cdot \boxed{\text{す}}^{n-1} + \boxed{\text{せ}}^n}$ である。